

# まこい補少

筆慶永 上司 当別寺大東世215第

第61号  
発行

生駒警察署  
少年補導員協会

平成25年  
7月

## 平成二十五年度 生駒警察署少年補導員協会 定時総会



平成二十五年度の生駒警察署少年補導員協会定時総会が、七月一日(月)に生駒セイセイビル四〇一号室にて開催されました。  
有山会長をはじめ新会員二名を含む三十四名の会員の出席をいただきました。

第一部では、有山会長、飯尾署長の挨拶の後、平成二十四年度の事業結果報告・収支決算報告・監査報告。休憩をはさんで引き続き行われた第二部では、長年にわたる在籍会員に対して署長より感謝状の贈呈、及び新会員二名の委嘱状交付。第三部では平成二十五年度の事業計画案・予算案が満場一致で承認されました。

その後、第四部の講習会では、奈良県警察本部生活安全部少年課少年サポートセンターの千原久美子主任、川崎廣子係員による補導活動の声かけ要領について、中学生に扮した講師と補導員の有志によるロールプレイを中心に勉強しました。年の功とも言うべく人生経験の豊富な会員のアドリブもあり、頭ごなしに注意するのではなく、子どもと同じ目線に立つ

て話を聞くことの大切さ、また所持品のタバコなどは補導員が取り上げるのではなく、あくまで本人の意思で捨てさせることなど、改めて認識することも多く、意義深い講習会となりました。補導活動の実際の現場で起こりうる子ども達とのやりとり等もイメージしやすかったのではないのでしょうか。

今後とも補導員の自覚をもって、地域の皆さまと連携し、積極的に少年非行防止の活動を行っていくことへの決意を新たにいたしました。



栄誉ある賞を  
受賞

長年にわたり、少年の非行防止ならび健全育成のための活動に尽力されました生駒警察署少年補導員協会奥野 治司氏が、平成二十五年度全国少年補導功労者表彰少年補導員栄誉銀賞、また同秋山 恵子氏が奈良県少年補導功労者表彰を受賞されました。また功労団体表彰では生駒警察署少年補導員協会中地区が表彰を受けています。おめでとうございます。



空き巣 車上・部品ねらい 振り込め詐欺が多発! ご注意ください。

# 着任にあたって

生駒警察署署長

飯尾 桂次



本年三月十五日付けで生駒警察署長に着任いたしました飯尾でございます。

生駒警察署での勤務は、初めてであります。

私は昭和五十年、奈良県巡查を拝命し、これまで主に捜査部門で勤務しております。

少年補導員協会では、街頭補導活動をはじめとして少年健全育成、奈良県カンファレンス及び地域安全運動奈良県民大会等への参加各地域で実施された夏祭りでの補導見守り活動、女性部紙芝居による保育園等に対する被害防止教室等、数々の行事や地域安全活動に取り組んでいただくなど、少年補導員協会の皆様方の少年の健全育成に対する深

いご理解と多大なご尽力につきまして、心から敬意と謝意を申し上げる次第であります。

昨年県下の刑法犯認知件数は一二、一七一件と対前年比でマイナス一、一五四件（マイナス8.7%）減少させることができ、当署管内におきましても、刑法犯認知件数は五九八件と対前年比で十七件（マイナス2.8%）減少となったところであります。しかしながら、県民が不安を身近に感じる住宅対象侵入窃盗やひったくり、あるいは、被害者の大半を高齢者が占める振り込め詐欺の発生も後を絶たない等、市民視線から見ると、市民が肌で感じる治安の回復には至っていない現状にあります。

そこで、本年は、「日本一安全で安心して暮らせる奈良の実現」を奈良県警察の運営指針として、パトロールカーでメロディを流し、パトロールを行う「メロディ

パトロール」を行い、「見える・聞こえる」パトロール活動等市民の目線に立った諸対策を一層強力に推進してまいります。

また、少年非行をめぐる情勢につきましては、数値的には減少傾向にあります。全国的に少年による凶悪事件が後を絶たずさらに、昨今の社会情勢を反映し、インターネットや携帯電話・スマートフォン等による誹謗・中傷など少年の健全育成を阻害する新たな問題も懸念されるところであります。

従いまして、我々警察といたしまして、「非行少年を生まない社会づくり」を始めとした諸対策を今後とも継続して取り組んでまいります。

そのため警察のみならず、少年補導員協会の皆様方をはじめとする地域社会と一体となった「地域ぐるみ」での活動が必要不可欠であり、地域ぐるみで活動していただいている少年補導員協会の皆様方の役割はますます大きくなってまいります。今後とも、尚一層のご支

援ご協力を賜りますようお願いするとともに少年補導員協会のますますのご発展と各位のご健勝を祈念申し上げます。上げ着任のご挨拶といたします。

生駒警察署生活安全課係長

高橋 靖典



平成二十五年三月二十七日付けで、生駒警察署生活安全課係長として着任いたしました高橋靖典でございます。

私は、平成四年三月から平成十四年三月までの十年間生駒警察署で勤務しており、平成十二年からの二年間生活安全課で勤務した際、少年補導員協会の方々には、公私共に大変お世話になりました。

そして今回、十一年ぶりに生駒警察署の生活安全課での勤務となり、私の顔を覚えて下さっていた協会の方々にお声も掛けていただ

きまして、故郷に戻ってきただような気持ちで勤務させていただいております。

私が以前勤務させて頂いていた時には、少年補導員協会の女性部の「紙芝居」による保育園児等に対する被害防止活動といった活動はありませんでした。

今回初めて参加させて頂きましたが、園児の反響に驚きました。

その時の子どもたちのあふれんばかりの笑顔を見ると、被害防止だけではなく、「非行の芽をださない心を育てる教育」が行われそれが継続されて根付いていることがわかりました。

縁あって生駒警察署の生活安全課で二度目の勤務をしています。そして様々な協会活動に参加させていただくことができ、本当に嬉しく思います。

今後皆さんと共に少年の健全育成と非行防止活動を中心とした活動を行いたいと思います。

今後ともよろしくお願います。

生駒警察署生活安全課

少年・事件係巡查

星野 鉄平



本年三月二十七日付けで、生駒警察署生活安全課係員として着任いたしました、星野鉄平と申します。

私は平成二十年に奈良県警察官を拝命し、警察官としての経験年数が五年と非常に浅く、また生活安全課員としての勤務が今年度からであり、まさにピカピカの一年生の様な気持ちであります。

個人的な話となりますが、私は現在二十三歳であり、つい数年前までは少年という立場でした。その時期、身近な者が非行に走り、本人をはじめ、家族が非常に苦勞しているのを幾度となく目にしてきました。

そのような事が起こらぬ社会を作っていくのは我々大人の責務であり、その中でも少年補導員協会の方々や、警察組織には大きな責

任が課せられています。

日頃の少年補導員協会の皆様方の多大なるご活躍には頭が下がる思いでありませし、我々警察もそれに負けじと努力することで、青少年の健全育成が成され、平和な社会作りを実現する事が出来るのだと思います。

その大きな目標を達成するためにも、私も全力を注いでいく所存であります。何分、私自身まだまだ未熟な身であり、何かと皆様にはご迷惑をおかけすることと思っております。今後ともどうかよろしく願っています。

### 新会員さんの横顔

北地区 中本 義文



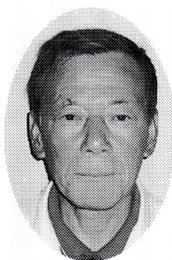
この度、七月一日付けにて少年補導員に委嘱されました中本義文と申します。昭和二十二年三月、農家の

生まれです。

平成二十一年四月より、南田原子ども育成ネットの一員となり、地元の小・中学生の見守りボランティアとして毎朝交差点に立ち、交通安全等の活動に努めているところです。

また、平成二十三年四月には、近隣の地域交通安全推進委員の推薦等もあり、同委員に就任いたしました。今後とも、どうぞよろしく願っています。

北地区 池谷 忠義

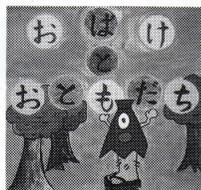


さる七月一日付けにて、少年補導員を拝命いたしました池谷忠義と申します。昭和二十三年八月、農家の生まれでもうすぐ満六十五歳になります。

昭和四十二年三月高校を卒業してから平成二十四年までの四十五年余り、団体職員を勤めて参りました。平成二十一年四月からは、

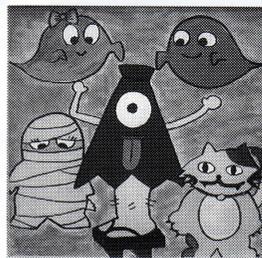
## 少補女性部 ゆうゆう通信

2013 Vol.1



### 好評の紙芝居に「おぼけとおともだち」がリニューアルして加わりました！

(内容)人間の子どもと友だちになりたいおぼけくんたちはある日、怖いおじさんに連れて行かれそうになっているリボンちゃんに気がついて…。おぼけくんたちはリボンちゃんを助けられるかな？



ビビッドな色づかいと美しいクラシック音楽で演出された紙芝居にぜひご期待下さい。

お問い合わせは  
生駒警察署生活安全課 (74-0110) まで

地域交通安全推進委員を受任するとともに、地元での子ども育成ネットの一員として子ども見守りボランティアとして、微力ではありますが交通安全等の活動に努めているところです。

趣味はこれと言ったものもなく、毎日田・畑仕事に精を出している昨今です。これからは皆様のお力をお借りしながら頑張りたいと思っております。どうぞよろしく願っています。

# 京都府警察学校と

## 指令室を訪ねて

### 生駒警察署少年補導員協会研修

女性部長 藤堂 宏子

ただきました。

生駒警察署少年補導員協会は、平成二十五年二月十三日に、京都府警察学校と、京都府警察の指令室を訪れ、研修を行いました。当日の参加者は十四名で、まず、京都市伏見区深草塚本町にある京都府警察学校に向かいました。

京都府警察学校では、採用後の京都府警察職員が、全寮制で規則正しい生活を送りながら、教養を受けています。期間は、大卒の警察官六カ月、大卒以外の警察官一〇カ月、警察事務職員一カ月です。広い敷地内には、本館、教場、講堂、総合武道場、体育館、厚生棟に加えて三つの寮があり、たくさんの方が学んでおられました。私たちは、警察学校について説明を受けた後、施設内を見学させてい



警察学校を訪れて、実際に学んでおられる様子を見学させていただくのは、初めての経験でした。講義で、

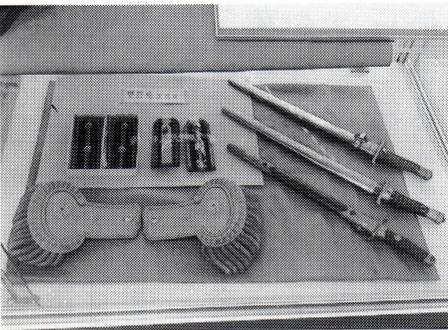
警察官に必要な法律や、各部門の仕事を学ぶだけでなく、実際の現場を想定した実習や、訓練をしておられます。警察学校での厳しい訓練や学習を経ていく途中で挫折する者も少なくないとのことでした。

鑑識実習で、指紋採取の実習をしておられる様子を見学させていただきましたこと

も印象に残っています。テレビドラマ等で見て、事件現場で指紋採取等をするのは鑑識の方々だと思っていました。全体的に警察官がその技術を学んでおられるということも知りました。

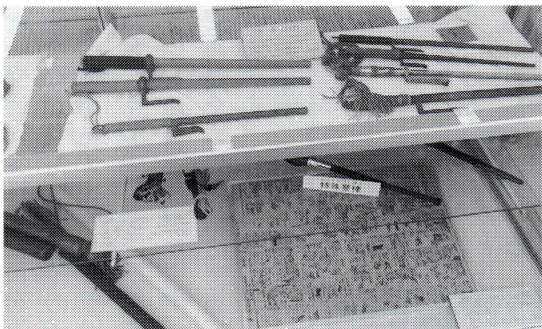
警察学校では、新任の方だけでなく、既に現場での仕事を終った方も学んでおられました。経験が積んだ方々の顔は、新任の方とは違って、更に頼もしい警察官の顔でした。

真剣に学んでおられる若い警察官の方々を見ていると、自分たちの背筋が伸びる思いになりました。



また、警察学校の中には、資料室があり、過去からの警察の資料や、世界の警察

についての資料等、様々な資料が展示されていました。



次に、京都府警察広報センター、交通管制センター、通信指令センターを見学し、研修を行いました。

広報センターでは、京都府警察のシンボルマスコットである「ポリスマろん」君が迎えに来てくれます。まろん君は、前任のマスコット、京都府の鳥であるオオミズナギドリ「キョッピ」君から平成二十三年に仕事を受け継いだそうです。通信指令センターは、観光客からの電話も多いそうで、私たちが見学している時にも、いくつかの通報が入っているランプが点灯していました。

警察官の皆様の日頃の活動に感謝しつつ、私たちは補導員として、自分たちができる活動が続けていきたいと思います。

